

【介護福祉士国家試験】 外国人受験者等への試験上の配慮について

※黄色部分が今回の変更点

経済連携協定(EPA)に
基づく介護福祉士候補者

インドネシア共和国
フィリピン共和国
ベトナム社会主義共和国

ふりがな付き試験問題の配付 + 試験時間の延長
(一般の受験者の1.5倍)

※ふりがな付き・ふりがな無しの試験問題の
両方が配布される。

平成24年度国家試験～
(平成25年1月実施)

EPA候補者以外の
外国の国籍を有する方
または
日本に帰化された方
のうち試験上の配慮を
希望する者

ふりがな付き試験問題の配付 + 試験時間の延長
(一般の受験者の1.5倍)

※ふりがな付き・ふりがな無しの試験問題の
両方が配布される。

平成27年度国家試験～
(平成28年1月実施)

令和2年度国家試験～
(令和3年1月実施)

※上記のほか、平成22年度国家試験から以下の配慮を実施。

○難解な漢字へのふりがな付記

例：脆弱 → 脆弱^{ぜいじゃく} 濡らす → 濡らす^ぬ 膿 → 膿^{うみ}

○難解な用語・表現の置換え

例：段階的に減らしていく → 少しずつ減らしていく

○疾病名への英語併記

例：糖尿病 → 糖尿病 diabetes mellitus

○主語・目的語等の明示、構文の工夫

○国際的に認定されている略語・外国人名の原語等の併記

例：エリクソン → エリクソン, E. H. (Erikson, E. H.)

○否定型設問の指示形式をできる限り肯定表現に転換

など